

Katsuyama

KATSUYAMA HIGH SCHOOL NEWS

vol.54

2022.12

Contents

同窓会会長挨拶・同窓会役員…	2
校長挨拶	3
活躍する卒業生	4
同窓会だより	5~7
母校だより	8
活躍する部活動	9
ホームページ	
リニューアルのお知らせ	10
会計報告	11
勝山高校OB美術展	11
進学・就職実績	12
事務局だより	12





同窓会会長

山下 豊

ご挨拶

同窓生の皆様こんにちは。いかがお過ごしでしょうか。お伺い申し上げます。
平素は勝山高校並びに同窓会に格別のご支援、ご協力を賜り誠にありがとうございます。
心よりお礼申し上げます。

当地も、この夏は花火大会や盆踊り、秋には各地のお祭り、久世や勝山のだんじり喧嘩、喧嘩だんじりも3年振りに賑やかに開催され、コロナ以前と同様、という訳には行きませんが、少しずつ以前の暮らしが戻ってきているようです。ただ、同窓会本部総会の懇親会は、残念ながら本年度も中止、3年間地元の役員だけでの総会となりました。来年こそは何とか開催し、50歳当番幹事制の伝統が、絶える事無く継続することを祈っております。

さて、いよいよ今年度入試よりビジネス科の募集が停止となり、普通科のみの4クラス160名定員となりました。私達地元同窓生も、大きな期待と不安を持って今年度の志願者の動向を見守っておりましたが、結果は大幅な定員割れ。勝山高校が将来にわたって存続可能なのか改めて深刻な危機感を抱きました。急速に進む少子化と都市部への人口流出により、どこの学校も生徒集めに苦慮しております。市内の中学卒業生の約半数が隣の津山市や県南の私立高校を中心に流出しているのが現状です。私立高校は文字通り生き残りを賭け、私立の強みを活かした様々な優待制度やユニークなコース、学科を作り生徒を集めております。勝山高校も独自の強み、特長を伸ばし、あるいは作り、子供達や保護者に広くアピールして1人でも多くの生徒を集める努力が必要です。

幸いなことにこの度「株式会社まちと学びのイノベーション研究所」という国立大学の名誉教授や現役の教授の方々を中心となり、データサイエンスやデジタル技術、アカデミックな知識・スキルで地域に貢献しようという会社が、真庭市久世に誕生いたしました。

縁あってその会社と勝山高校、同窓会の三者が協力し、勝山高校の魅力作りに取り組むという体制が出来ました。即効性はともかく受験生とその保護者の方に、進学のための勉強に加えて最先端の技術が楽しく学べる学校としてアピール出来たらと考えておりますので、どうぞご期待ください。

同窓生の皆様にもこれまで以上に勝山高校のPRをよろしく願い申し上げ、皆様のご多幸とご健勝、そして令和5年にコロナ禍が収束し、戦争も終わって平和な1年となりますよう念じております。

令和5年度 本部総会のお知らせ

来年度の当番幹事は、平成4年3月卒業の皆様方です。ご協力よろしく申し上げます。

日時 令和5年8月13日(日) 10時

場所 勝山高校同窓会館

懇親会 12時より **会場** 勝山文化センター

同窓会役員

役名	氏名	卒期
顧問	近藤 正美	中19
会長	山下 豊	高20
副会長	松浦 征護	高14
副会長	太田 詳子	高17
副会長	三船 昌行	高17
副会長	岡田 健	高21
副会長	宮島 敦子	高27
副会長	池田 浩規	高34
監事	長尾 卓洋	高29
監事	綱島 直彦	高30

役名	氏名	卒期
会計事務長	平岡 明子	
東京支部長	井上 光一	高33
岡山支部長	内山 満義	高22
関西支部長	木村 康雄	高17
津山支部長	二木 浩	高32
鳥取支部長	山藤 輝彦	高3
島根支部長		
川上支部長	徳山 周一	高25
落合支部長	道満 祥雄	高19
勝山支部長	結家 恭一	高13

役名	氏名	卒期
大佐支部長	金平 敏数	高13
中和支部長	由井 堅史	高30
美甘支部長	戸田 典宏	高36
新庄支部長	坂本 茂樹	高27
八束支部長	小谷 仁志	高30
久世支部長	石村 修	高30
月田支部長	植田 浩史	高27
富原支部長	米山 孝	高27
湯原支部長	横辺 由江	高34



校長

池田 浩規

発刊によせて

同窓会員の皆様方にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

昨年度は創立110周年記念式典を厳粛なうちに挙行することが出来ました。同窓会員の皆様には物心両面からのご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

すでに多くの方にご覧いただいておりますが、本校のホームページを同窓会の資金援助をいただきリニューアルいたしました。学校のホームページの運営に関しては財政的裏付けも人的裏付けもなく、公立高校は大変苦慮しているところです。本校のホームページについては同窓会員の皆様と、関係教職員の尽力によって最新の洗練されたものになることが出来ました。心より感謝申し上げます。

昨年11月、真庭市久世に、「株式会社まちと学びのイノベーション研究所」という会社が立ち上がりました。この会社のメンバーは、最新の研究領域であるデータサイエンスを駆使する頭脳集団です。「まにわっしょい」等同窓会関係者を通じてこの会社から勝山高校との連携の申し出があり、教職員と話し合いながらどのような連携が出来るのかを半年間模索してまいりました。その結果、社長の非常勤講師としての採用や、本校の学びの深化への協力など、様々な連携の方向が模索され、令和4年3月24日、包括的連携協定を結ぶに至りました。これを受けて現在本校では北海道大学名誉教授原口誠先生が1年生の「情報Ⅰ」の指導にあたって下さっています。

6月には同窓会が主体となり同社と、「魁！鼓山塾」の開催を目指したクラウドファンディングに取り組んでいただきました。目標額は200万円でしたが同窓会員の皆様のお力添えもあり213万5千円（達成率106%）まで達成することが出来ました。重ねて感謝申し上げます。

資金達成を受け、早速第一回の「魁！鼓山塾」が開講されました。OnLineの講座が中心となりましたが、1年目の試行を経て、来年度に向けて新たな準備段階に入っております。来年度も「まちと学びのイノベーション研究所」と連携協力しながら本校生徒の多様な知識形成に向けて尽力して参ります。

昭和37年に設置された商業科（現ビジネス科）については、本年度より募集停止となり、現在は2・3年生76名が簿記に情報処理にと切磋琢磨しています。来年度が最終年となり、ビジネス科においても様々な取り組みを企画しております。

今年度の新入生については大幅な定員割れとなってしまいました。新年度に向け、副校長を中心とした生徒募集のチームが積極的に動き、進学実績や就職の実績なども広く周知しながら募集活動を行っております。同窓会員の皆様には引き続き応援をよろしくお願いいたします。



校庭を東側より撮影

活躍する卒業生



SIRA

SIRA

第54回(平成15年卒)
歌手、ラジオDJ、作曲家

[works]

ラジオ▶ TFM系ミュージック
レコード「まだ水曜!?!」
レギュラー出演中。

楽曲提供▶ 坂本真綾

「Hidden Notes」[un_mute]
ELISA「光の星」(TVアニメ
「銀河英雄伝説 Die Neue
These」ED)

加藤和樹「ノスタルジックオ
レンジ」[もしも]「vintage」
Eliana「You and I」など

「グローバルに活躍できるアーティストになる」そんな思いを抱いていたせいも、「進学は時間の無駄」と感じる事もあった中学時代。唯一、当時できたばかりの「国際情報コース」に興味を持ち2期生として入学、「国際コース」で英語だらけの3年を過ごしました。従来の授業と違い、時事英語に発音強化、ホームステイ、スピーチコンテスト等「こういうの待ってた!」ウキウキでした。マライア・キャリー、スティーヴィー・ワンダー、Green Day、Incubus…全てあげたら原稿がそれだけで埋まってしまう程洋楽にハマり、毎晩耳コピして、授業で新しい学びを得る…思っていた以上に楽しい生活でした。卒業後、島根で組んだバンドでメジャーデビュー、恩師から「学園祭ゲストライブ」の依頼を頂きました。16年過ごした島根は3年前に離れ、現在は東京で作曲

家として楽曲提供や、英語詞のディレクションも担当します。当時協調性もなく、友達付き合いも下手、「叱られる」を通り越して「心配される」ほどの悪い点数。それでもこの学校でよかったと思えたのは、おおらかに見守りつつ、学園祭では全力でステージに立つような熱い先生方との出会いと、鳥や蝉の音が響く教室でウトウトしながら授業を受けられた環境でした。進学率、就職率だけを競い、「普通」という言葉で心を蝕む教育ではなく、「この世界で、人生をどう生きるか?」を問う事ができる余白のある教育が、今の勝山高校でも続いていて欲しいと願っています。

勝山高校時代の恩師、池田浩規校長先生にお声かけいただき、同窓会報へ寄稿させていただくこととなりました。

寄稿にあたり、私の勝高時代に思いを巡らせますと、勉強に遊びに様々な記憶が懐かしく思い出されます。特に、池田先生の日本史の授業が大好きで、熱をあげて勉強していました。

後に、「もっと英語とか数学もやっておけば…」と思うこともありましたが、好きな事に没頭するという経験が現在の活動にも生かされていると思います。

私は現在、オフィスで働きながら、アニソンシンガーとしての活動(機動武闘伝Gガンダムの主題歌「Trust You Forever」公式カバー、山口県岩国市のご当地ヒーロー「清流光神ハクジャオー」の主題歌歌唱)をしつ

つ、プロのアーティストのサポート、イベントへのアーティストブッキングや町おこし等の企画に携わることもあります。大学在籍時から、一緒に音楽をする仲間や、アニメソングの分野で世界的に活躍する偉大な先輩に巡りあうことができたおかげで、現在までご縁を紡ぎながら活動を続けています。

最後に、私が主題歌を担当している清流光神ハクジャオーのテーマを紹介します。

「あきらめなければ 夢は叶う」

私はテーマを体現することが主題歌を歌う者の宿命と思っています。これからも憧れを追いかけ、この業界で戦っていきたく思います。皆様と一緒に「夢現」のための「向上の一路」を歩んでいきましょう。



Masaharu Taniguchi

谷口マサハル

第58回(平成19年卒)
ミュージシャン



同窓会だより

同窓会総会を終えて

長尾 重紀 高42回 (平成3年卒) 普通科代表

令和3年の3月、職場の先輩からお願いしたいことがあると相談を受けました。改まった相談でしたので、若干変な感じがしていましたが要件は今年の8月に開催される勝山高校同窓会の総会に、次期幹事となる普通科代表でとりあえず出席してほしいとの依頼でした。私も以前から高校の先輩に5歳を迎える年には同窓会の幹事をするようになるよと聞いてはいましたし、協力のお願があれば手伝わなければならないと思ってはいました。しかし、あれだけ多くの同級生がいるのだから同級生から協力の依頼がくるものと思っていたら、まさかの先輩からの直接の依頼でした。その時の自分の正直な気持ちを言いますと、『あー、なんで俺のところに来たのだから、他に適任者はいるだろうでしょうか』と考え悩んでいました。内心断りたいとは思ってはいましたが、私が断れば他の人を探さなくてはならなくなり大変だろうし、どうせ来年幹事としてやらなければならないならと思い、その場で引き受けることにしました。もう一人商業科代表も来るから大丈夫と言われていたこともあり少し安心していた部分もありました。

令和3年8月8日、令和3年度同窓会総会に出席するために勝山高校内にあります同窓会館へ行きました。令和3年度もコロナ禍ということで総会のみで開催でした。20数年ぶりに訪れた母校は、私が通っていたころの校舎などは新しく建て替えられた物もあり雰囲気などは大きく様変わりしていましたが、ここで3年間学業に部活と過ごしたのだな、と駐車場から同窓会館へ歩い

ていると懐かしさがこみ上げてきました。総会に出席するとなんと商業科の次期幹事代表が見つからなかったと告げられました。これは困った事になったと思い総会が進行している間もどうしようかとあれこれ悩んでいました。

来年度の同窓会開催に向けて知恵を貸してもらうために、まずは4人の同級生に声を掛けました。久しぶりに会う人もいましたが、いろいろな意見や案が出て有意義な時間となりました。また、集まった皆の現況が聞けたり、高校時代の昔話に花が咲いたりして楽しい時間となりました。昔話などしていると自分も年を取ったなと思いますが、同級生と話をしているとその当時に戻った気分になり感慨深いものがありました。

令和4年8月7日、本年度も同窓会は総会のみで開催で、親睦会等は中止とさせていただきます。親睦会を楽しみにしておられた方には申し訳なかったと思います。新型コロナウイルスによりいろいろな面で影響が出ていますが、来年度以降現在の状況が改善され通常どおり開催されることを願います。

最後になりましたが、総会を開催するにあたりご指導頂きました同窓会役員の皆様、事務局の先生方、そして総会当日の運営に協力頂きました商業科27期生の齋藤香織さん、普通科42期生の保田淳子さん(旧姓:河島)、岡田英司さん(旧姓:佐藤)、矢谷勲さん、また協力してもらった、宮本義彦さん、村岡誠介さん、本当にありがとうございました。



卒業アルバムから 33HRクラス写真

東京支部総会・懇親会報告 支部長 井上 光一 高33回(昭和57年卒)

新型コロナウイルスはいまだ収束が見えておらず、原価高騰による物価上昇など私たちの生活にネガティブな状況が続いております。東京支部の懇親会も3年連続で見送らざるを得ませんでした。

さて私事になりますが、去る5月のゴールデンウィークに大学生の長女と約3年ぶりに久世に帰省することができました。久世の町並み、川や山並みを眺めながらのランニング、家族や友人との久々の親交、そして長女と共に旧遷喬尋常小学校、勝山街並み保存地区、湯原温泉、そして蒜山高原をまわりました。やはり東京では味わえない清々しい空気と精神的な平安を得ることができました。



2017年東京支部総会より

また7月には山下同窓会長、池田学校長、事務局から前田先生と佐田先生が東京までご足労いただき、我々は3名参加で役員会を催すことができました。勝山での総会参加が叶わない中、諸々の情報交換ができ、また各支部の状況や勝山での活動など色々なお話が聞けて本当に有意義でした。誠にありがとうございました。

まだ先の見えない不便な生活が続いていますが、どこに住んでいようと普通であることの幸せに日々感謝しながら暮らしていけたらと思っています。東京支部ならびに皆様のご健康と益々のご繁栄を祈念申し上げます。

関西支部総会・懇親会報告 支部長 木村 康雄 高17回(昭和41年卒)

世の中コロナに振り回され続けた悪夢の3年間でした。3年間にわたり会員同士が集まる機会を奪われてしまいました。やっと終息の気配を見るや待ってましたとばかりに世の中動き出しました。故郷からも勝山・久世祭の便りが届きました。京都の祇園祭も3年振りに行われ、行楽地にはインバウンドが溢れています。

春先、今年と同窓会支部総会の中止の連絡を余儀なくされた時、池田校長から来年度の支部総会について話があり、このまま各支部の中止が続くと再び開催することが困難になるのではないかと危惧しており、役員団だけでも顔を合わせて現況報告で情報交換することも必要なのではないかという話が聞こえてきました。とても嬉しい朗報でした。その後何度も何度も母校の事務局と慎重に連絡を交わし、やっと6月になってコロナが少し落ち着いてきている状況をとらえ、山下豊同窓会長、池田浩規校長先生、事務局前田竜一先生、佐田晃彦先生の4名が大阪へ出向いていただきました。関西支部からも菱川副支部長、山本監査役、会計長岡さん、三好委員、木村の5名が出席。3年間積もった話題が一気に噴き出し、情報共有、話題があり充実した時間でした。地域とデジタルの力を組み合わせた、新しい学びの仕組み「鼓山塾」を開発するために、クラウドファンディングに挑戦中との紹介があり頑張っている状況が伝わってきました。また、最近の若い人の同窓会離れも話題になり、この問題はどこの学校でも抱えている問題で岡山県近畿地区同窓会・県人会代表者会議でも大きな問題になっていますが決定的な解決策はないままです。

そんな中、地元から卒業生を応援に派遣しようという話になり、一つの光明を見出した思いがしています。来年度、関西支部会は5月21日(日)の予定で、本部からは昭和62年卒業生に声をかけてもらうという準備ですすめています。

参加へのためらいがあるかもしれませんが、集まってしまうと仲間の仲間同士、楽しい語らいが待っているとと思っています。まだまだ心配はありますが先ず一步を踏み出そう、何かあればドタキャンもありで行きましょう。



2017年関西支部総会より

岡山支部

支部長 内山 満義 高22回(昭和46年卒)

文責 横山 寿 高33回(昭和57年卒)

3年に1度の勝山高校同窓会岡山支部総会を11月27日(日)に岡山市北区にあるピュアリティまきびで、本部から山下豊同窓会長、学校から山崎徹副校長先生・前田竜一先生・佐田晃彦先生をお迎えして開催しました。

新型コロナウイルス感染拡大が叫ばれる中での開催となり、従前とは違い、懇親会を中止し、役員のみによる総会の開催となりました。

総会では、校歌斉唱・物故者への黙祷の後、事案の協議にはいりました。

事前に協議事案を送付した会員の内、回答をいただいた約150名の方のご意見等を報告し、協議を行った結果、すべての事案が承認されました。



令和4年岡山支部総会より

協議終了後の雑談のなかで、平成以降に卒業された岡山支部会員に該当する方の情報を調べる手段がないため、総会等の案内を送ることができない、新たな役員等への登用ができない等の話がありました。

岡山支部にとって新規会員の募集は、今後の支部活動の活性化をはかる上で大事なことであり、本会報をご覧の方で、自分は岡山支部会員に該当すると思われる方はご連絡をください。

また支部活動についてのご意見等がありましたら、ご連絡ください。

魁！鼓山塾の挑戦

株式会社まちと学びのイノベーション研究所

代表取締役 加賀山 茂

魁！鼓山塾の構想は、今年2月上旬頃に、勝山高校の敷地内にある同窓会館を利用して、勝山高校の生徒とOBやOG他、市民が一緒になって学ぶ、新しい学びの場づくりを着想し検討することからスタートしました。その背景には、勝山高校が、2022年4月から普通科の単科高等学校となり、岡山県北地域における進学拠点校として再編され、新入生から定員160名(40名×4クラス)となったこと。このことが直接影響したかは判断が出来ないが、2022年度入学生は109名と、大幅な定員割れの結果となった事実が、大きな要因でした。地域の産学官民の様々な立場の関係者の方々が、何か良い方策がないかと模索していた中で、地域協働で行う「魁！鼓山塾」の開設に向けての動きが高まりました。

当社、株式会社まちと学びのイノベーション研究所は、データサイエンス分野の学問領域を共有する国立大学名誉教授、現役教授等を研究員として、データ分析やプログラム開発を行っています。魁！鼓山塾の立ち上げには、当初から進行役の私、加賀山茂をはじめ、事務局として、講座企画構成の検討、講師対応などで支援をさせて頂きました。また、講座の実施経費は、「晴れ！フレ！岡山」(中国銀行、山陽新聞社、ReadyForが共同支援)という地域密着型のクラウドファンディングを活用し、目標額200万円を達成して実施することが出来ました。クラウドファンディングに協力を頂きました皆様方には心から感謝し、お礼を申し上げます。



魁！鼓山塾は、7月から9月まで、全18講座/全54回の実施で、オンライン講座受講者延べ62名、対面講座175名の受講者がありました。初めての試みで様々な課題もありましたが、クラウドファンディングを含め、魁！鼓山塾に協力を頂いた皆様方には感謝しかありません。実施内容につきましては、実施報告書を作成させて頂き、先日10月6日に実施報告会をさせて頂きました。その報告会において、次年度も継続して、魁！鼓山塾を実施することも決定させて頂きました。魁！鼓山塾の挑戦はまだ始まったばかりです。今後とも引き続き活動を見守って頂きまして、可能な範囲でご協力ご支援を頂ければと思います。

母校だより

第23回 鼓山祭

9月8日(木)、12日(月)に『完全燃焼～夏より熱い青春を～』をスローガンに掲げ、第23回鼓山祭が開催されました。両日も晴天に恵まれ、生徒たちはこれまでの努力の成果を十二分に発揮してくれたと思います。

今年度は早い時期から企画・準備を始め、加えて今年は例年以上に生徒主導で鼓山祭を運営できるようにと、生徒会長を始めとした生徒会執行部や各担当の先生方とも話し合いを重ねました。

暑さ対策には例年と同様に悩まされましたが、概ね順調に準備が進み、今年は何事もなく開催できると思われた鼓山祭。しかし、昨年度に引き続き試練が訪れました。開催前日にまさかのコロナ感染症防止による学級閉鎖。恐らくこの事実を聞いた多くの人は『中止』という最悪の事態を想像したのではなかったでしょうか。それでもこれまでの準備の成果を何とかして形にさせたいという思いから、文化の部は予定通り行い、体育の部は順延し翌週の月曜日に行くことで実施することになりました。しかし文化の部発表で1クラスが不在のため急な変更を余儀なくされた部門があり、この決定を聞いた生徒の中には、やりきれない思いに涙を流す人もいました。

それでも前を向き、どのようにすればこの状況を打開できるかを考え、行動できるのが本校の生徒たちです。学級閉鎖によってメンバーが足りなくなった団の各パート同士でメンバーの補充をしたり、構成を練り直して対応したりする姿が見られました。また生徒会執行部のメンバーでMeetを使用して閉鎖するクラスへライブ配信も実行しました。

迎えた当日。各団のオリジナリティ溢れる劇。観る者すべてを魅了するパフォーマンス。1日限定の特別感満載の展示・イベント。県下一の大きさを誇り、今年も大迫力だったパネル。そして学年の垣根を越え、また3つの団が一つになり「我々は勝高生だ」と言わんばかりの応援合戦。今年も生徒の底力を感じた鼓山祭になったと思います。

ここ数年はこれまでの伝統ある鼓山祭とは異なる形式で行いましたが、この予測できない時だからこそ、「思いついたことをやってみる」ことを心掛けてきました。これからも伝統を残しつつ、新しい鼓山祭を作り上げていきますので、乞うご期待を！



2年生修学旅行

6月7日(火)～10日(金)の3泊4日の日程で、2年生は関東方面へ修学旅行に行ってきました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で実施が危ぶまれましたが、若干内容を変更し、予定通りの日程で実施することができました。

初日は横浜中華街で自由散策をし、その日の夕食はクラスごとに分かれてもんじゃ焼きを食べました。2日目は各班が事前に立てた計画を元に班別自主研修を行い、それぞれで貴重な体験をし、友人とともに楽しむことができました。3日目は東京ディズニーリゾートを夜まで満喫し、最終日は浅草で自由散策をして帰途に就きました。

今回の修学旅行は、コロナ禍で様々な制約がありましたが、たくさんの生徒の笑顔を見ることができました。現2年生は、中学生の時に新型コロナウイルス感染症の影響で、修学旅行に行くことができていない学年でしたので、喜びもひとしおです。皆元気に過ごすことができ、思い出に残る修学旅行になりました。



活躍する部活動

■ 軟式野球部

皆さんこんにちは！軟式野球部です。ご存じの方もおられるかと思いますが、勝山高校軟式野球部は約60年におよぶ活動を、今年度の夏選手権大会を最後に閉じることとなりました。最後となった部員は選手6名、マネージャー3名の計9名です。

私たちが最後になることを知ったのは1年前。先輩が引退した後、なかなか練習に気持ちが入らなかつたり、部員同士でもめ事がおきたりと、活動することが厳しい状況にありました。しかし、最後のシーズンを迎えるにあたり部員や顧問の先生と話し合い、意識を確認することで団体競技として大切な協調性を培ってきました。日々の城山グラウンド（厳しい坂道で往復だけでも大変ですが、今となれば部員同士コミュニケーションの大切な時間でした）での練習や雨天の学校内での練習を経て最後のシーズンが始まりました。春大会から地元真庭高校・県南の興譲館高校と合同チームを結成し、他校生と協力して試合に参加しました。試合を重ねるごとに連携がうまくいき、県総体では3位となることができました。

そして最後の選手権大会。最後は勝山高校として単

独でチームを組むことを決め、他の部を引退した3年生の協力で大大会に出場することができました。結果は1回戦敗退でしたが、チーム全員、選手・マネージャーで声を掛け合い、猛暑の中チーム全員が全力で野球をして、最後に皆が同じ目標に向かって活動できたことがとてもうれしかったです。試合後の岡山県球場外の本陰でメンバー全員、涙ありのすがすがしいミーティングもすることができました。

またこの度は、地元テレビや新聞でも大きく報道され、歴代のOBの方々や保護者など約100名が応援に駆けつけてくださり、素晴らしい環境で試合ができたこと、本当に感謝です。そしてこれまで指導をしてくださった先生方、本当にお世話になりました。勝山高校軟式野球部で本当によかったです！

軟式野球部 主将 内田怜臣



令和4年度部活動 主な成績

運動部

■ 硬式野球部

- ・第103回全国高校野球選手権岡山県大会 出場
- ・令和4年度秋季岡山県高等学校野球大会 ベスト16

■ 軟式野球部

- ・第61回岡山県高等学校総合体育大会軟式野球競技 第3位

■ サッカー部

- ・第69回美作地区高等学校総合体育大会サッカー競技 第3位
- ・第61回岡山県高等学校総合体育大会サッカー競技 兼令和4年度全国高等学校総合体育大会サッカー競技岡山県予選 県ベスト16
- ・令和4年度岡山県高等学校サッカー選手権大会 県ベスト28

■ ソフトテニス部

- ・全日本・中国高等学校ソフトテニス選手権大会（個人）美作地区予選会 第3位 井田瀬菜（3年）・岡田理緒（3年）ペア
- ・全日本・中国高等学校ソフトテニス選手権大会（個人）岡山県予選会 兼第61回岡山県高等学校総合体育大会 女子3ペア出場
- ・全日本・中国高等学校ソフトテニス選手権大会（団体）岡山県予選会 兼第61回岡山県高等学校総合体育大会 出場
- ・岡山県高等学校新人ソフトテニス大会（団体）兼第48回全日本高等学校選抜ソフトテニス大会岡山県1次予選会 女子出場
- ・岡山県高等学校新人ソフトテニス大会（ダブルス）兼第52回岡山県高等学校選抜インドア選手権大会予選会 女子6ペア出場

■ 女子バレーボール部

- ・第76回岡山県高等学校春季バレーボール選手権大会美作支部予選会 第1位
- ・第76回岡山県高等学校春季バレーボール選手権大会 出場
- ・令和4年度全国高等学校総合体育大会岡山県予選会 兼第61回岡山県高等学校総合体育大会 ベスト16
- ・第23回TOB杯バレーボール大会 Aグループ 2位

- ・第75回全日本バレーボール高等学校選手権大会岡山県予選会 兼令和4年度岡山県高等学校男女バレーボール選手権大会 出場

■ 陸上競技部

- ・第69回美作地区高等学校総合体育大会
女子やり投 第1位 瀬島里乃（3年）
女子砲丸投 第2位 横山桃華（2年）
女子砲丸投 第3位 池田楓（2年）
男子110m障害 第3位 柴田健太（2年）
男子やり投 第3位 岩尾佳祐（2年）
- ・第61回岡山県高等学校総合体育大会 出場

■ 男子バスケットボール部

- ・第2回OBA U-18バスケットボールリーグ2022 兼第77回 国民体育大会バスケットボール競技（少年の部）岡山県選考会 出場
- ・令和4年度岡山県高等学校総合体育大会バスケットボール競技 美作地区予選会 出場
- ・Winter Cup2022 令和4年度 第75回全国高等学校バスケットボール選手権大会 1回戦勝利
- ・令和4年度岡山県高等学校バスケットボール新人優勝大会 美作地区予選会 出場

■ バドミントン部

- ・第69回美作地区高等学校総合体育大会
女子学校対抗戦 第2位
- ・第61回岡山県高等学校総合体育大会バドミントン競技会
女子学校対抗戦 出場
- ・第45回美作地区高等学校バドミントン大会 男子ダブルス 優勝 坂根蒼馬（2年）、中村琉来（1年）
- ・令和4年度岡山県高等学校バドミントン競技秋季大会美作地区予選会 女子学校対抗戦 第2位

■ 水泳競技

- ・第50回岡山県高等学校水泳競技大会（児島地区公園水泳場25mプール）
中嶋紀奈（1年）女子 50m自由形 第3位（28.31）
女子 100mバタフライ 第5位（1:11.77）

- ・第61回岡山県高等学校総合体育大会 兼 第90回岡山県高等学校選手権水泳競技大会 兼 第70回中国高等学校選手権水泳競技大会岡山県予選会（倉敷市屋内水泳センター）
中嶋紀奈（1年）女子 50m自由形 第4位（29.08）
女子 100mバタフライ 第7位（1:14.00）
- ・第70回中国高等学校選手権水泳競技大会（ひろしんビッグウェーブ）
中嶋紀奈（1年）女子 50m自由形（予選）第16位（28.61）
女子 100mバタフライ（予選）第18位（1:11.49）
- ・第65回岡山県高等学校新人水泳競技大会 兼 第10回中国高等学校新人水泳競技選手権大会岡山県予選会（倉敷市屋内水泳センター）
中嶋紀奈（1年）女子 50m自由形 第3位（29.22）
女子 100m自由形 第4位（1:04.88）
- ・第10回中国高等学校新人水泳競技選手権大会（倉敷市屋内水泳センター）
中嶋紀奈（1年）女子 50m自由形 第18位（29.88）
女子 100m自由形 第18位（1:04.61）

文化部

■ 美術部

- ・令和4年度岡山県高校生美術コンクール 磯田百花（1年）風景画部門 銀賞
- ・第9回「美々と展」開催

■ 書道部

- ・第38回成田山全国読書大会 特選・月輪賞 畝本歩実（3年）
- ・第44回ふれあい書道展 奨励賞 網島百花（3年）

■ 英会話同好会

- 第25回真庭地区中学校・高等学校英語スピーチコンテスト 高校生スピーチの部
第1位 瀧野朱理（2年）
第2位 植木絢楓（2年）
第3位 香川奈穂（2年）

勝山高校のホームページを リニューアルしました！

New!!



さあ！
QRコードから
アクセスしてみよう♪



「かつこウ日記」で
学校の様子を毎日発信！

卒業生の方へのお知らせも
掲載しています。

公式Instagramも、
大好評！！



会計報告

令和3年度
同窓会会計決算書

収入の部

(単位：円)

科目	予算額	収入済額	比較増減(△)	摘要
繰越金	1,745,304	1,745,304	0	令和2年度からの繰越金
生徒入会金	785,000	745,000	△40,000	生徒入会金5,000円×149名
雑収入	696	30	△666	預金利息
合計	2,531,000	2,490,334	△40,666	

支出の部

(単位：円)

科目	当初予算額	流用額	予算現額	支出済額	残額	摘要
広告費	50,000	0	50,000	0	50,000	
旅費	180,000	0	180,000	0	180,000	
会議費	100,000	0	100,000	0	100,000	
慶弔費	40,000	0	40,000	27,500	12,500	退任者記念品
通信費	30,000	0	30,000	14,555	15,445	郵送料
助成費	250,000	0	250,000	0	250,000	
需用費	100,000	2,000	102,000	101,775	225	消耗品購入費等
予備費	1,781,000	△2,000	1,779,000	1,650	1,777,350	支部設置検討経費
合計	2,531,000	0	2,531,000	145,480	2,385,520	

収入済額2,490,334円－支出済額145,480円＝残額2,344,854円(令和4年度へ繰越)

令和3年度
同窓会報会計決算書

収入の部

(単位：円)

科目	予算額	収入済額	比較増減(△)	摘要
繰越金	2,149,996	2,149,996	0	令和2年度からの繰越金
賛助金	2,068,000	1,758,000	△310,000	673件
雑収入	4	0	△4	
合計	4,218,000	3,907,996	△310,004	

支出の部

(単位：円)

科目	予算額	流用額	予算現額	支出済額	残額	摘要
賛助金振込手数料	104,000	14,000	118,000	117,525	475	673件
会報発行費	1,798,000	0	1,798,000	1,795,449	2,551	
口座振込手数料	1,000	0	1,000	0	1,000	
拠出金	1,501,000	0	1,501,000	1,500,503	497	創立110周年記念事業会計への寄付金として拠出
予備費	814,000	△14,000	800,000	0	800,000	
合計	4,218,000	0	4,218,000	3,413,477	804,523	

収入済額3,907,996円－支出済額3,413,477円＝残額494,519円(令和4年度へ繰越)

勝山高校OB美術展

10月14日～16日、JR美作落合駅前「ギャラリー葵」において、勝山高校OBによる美術展が行われました。創立100周年(平成23年)を機にOB美術同好会として発足。今回は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、3年ぶり7回目の開催となり、昭和23年卒業生から令和4年卒業生まで、幅広い世代で賑やかに活動しています!



進学実績

《令和4年3月合格者状況》※()は既卒で内数

大学名	合計
滋賀大	1(1)
鳥取大	3
島根大	1
岡山大	4(1)
山口大	1
香川大	1
愛媛大	1
宮崎大	1(1)
合計	13

大学名	合計
高崎経済大	1(1)
島根県立大	1
岡山県立大	5
新見公立大	2
下関市立大	1
周南公立大	4
合計	14

大学名	合計
東北芸術工科大	1
亜細亜大	1
日本大	1
静岡理工科大	1
愛知学院大	1
名城大	1
大谷大	3
京都外大	1
京都産業大	7
京都女子大	1
京都橘大	2

大学名	合計
同志社大	1
佛教大	1
立命館大	1(1)
龍谷大	7(1)
追手門学院大	1
大阪学院大	1
大阪経大	2
大阪商大	1
大阪体育大	1
近畿大	3
阪南大	1
大阪人間科学大	1
大阪成蹊大	1
大阪保健医療大	1
大阪工大	2(2)
大手前大	1
甲南大	2
神戸学院大	12
関西国際大	1
奈良大	3
岡山商大	2
岡山理大	8
川崎医療福祉大	2
倉敷芸術科学大	3
くらしき作陽大	2
山陽学園大	2
就実大	5
清心女子大	5
美作大	13

大学名	合計
中国学園大	1
広島修道大	1
福山大	1
安田女子大	1
広島国際大	2
松山大	7
九州産大	1
大阪国際工科専門職大	1
合計	121

大学名	合計
三重短大	1
合計	1

大学名	合計
京都外語短大	1
関西外大短大部	1
川崎医療短大	1
中国短大	1
美作短大部	1
合計	5

大学名	合計
岡山済生会看護専門	1
倉敷中央看護専門	1
岡山医療センター附属看護専門	1
津山中央看護専門	2
旭川荘厚生専門	1
玉野総合医療専門	1
岡山高等歯科衛生専門学校	2

大学名	合計
岡山総合川パリエーション専門	1
岡山医療福祉専門	1
大原ビジネス公務員専門学校	1
専門学校ピーマックス	2
岡山情報ビジネス学院	3
大原簿記専門	1
岡山ビジネスカレッジ専門学校	2
岡山科学技術専門学校	1
岡山情報クリエイター専門	3
神戸電子専門学校	2
大阪工業技術専門学校	1
東京情報クリエイター学院専門	1
中国デザイン専門	1
総合学園ヒューマンアカデミー	1
大阪アニメ・声優&スポーツ専門	1
大阪アニメーションカレッジ専門	1
大阪ベルエル美容専門	1
西日本調理製菓専門学校	1
専門学校岡山ビューティモード	2
岡山県理容美容専門	1
グラムール美容専門学校	1
九州観光専門	1
大阪文化服装学院	1
日本工科大学校	1
中国四国酪農大	1
北部高等技術専門学校美術校	2
合計	44

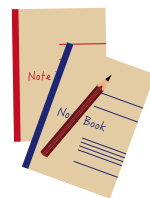
大学名	合計
専攻学校等	
合計	44

大学名	合計
専攻学校等	
合計	44

大学名	合計
専攻学校等	
合計	44

就職実績

就職事業所	合計
中国銀行	1
津山信用金庫	1
株式会社旭ボリスライダー	2
ミック工業株式会社岡山工場	1
三栄源エフ・エフ・アイ株式会社	1
アサヒフォージ株式会社	2
株式会社シンクラン	1
合計	9



事務局だより

会報賛助金納入のお願い

このたび、同窓会報第54号を発行することができました。同窓会として、このような会報誌を会員の皆様にお届けすることで、母校を懐かしんでいただき、更には母校の発展、会員の親睦に繋がればと考えております。そこで、同窓会活動の活性化、より内容の充実した会報を皆様にお届けする為に、会員の皆様に会報賛助金2,000円(令和4年分)のご協力のお願いを申し上げます。

封筒内に振込み用紙を同封しておりますので、お近くのコンビニ、または郵便局からご入金していただきますようお願い申し上げます。



LINE Pay

LINE Payでも
ご利用いただけます

同窓会を開催しませんか？

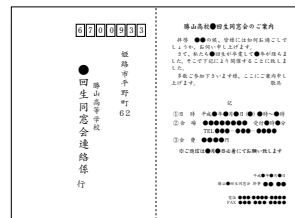
「学年同窓会を開きたいな〜」「最近みんな会ってないな〜」「クラブOB会を開きたいな〜」といったお声にお応えし、同窓会が各種同窓会開催を応援いたします。(有料)

対象者 同窓会員(現旧職員含む)に限ります。

- 内容**
- ①宛名タックシールの作成
 - ②同窓会開催の案内ハガキ(右見本の作成(往復ハガキ含む))

※出欠の集計、会費の入金管理も行うことが可能です。
※個人情報の管理のため住所データの提供は行いません。

案内はがき
見本



往復はがき

編集後記

コロナ禍3年目、少しずつコロナ禍以前の活動が戻りつつあると感じた1年でした。総会懇親会は大人数のため断念となりましたが、関西・東京支部ではコロナウイルス感染状況が少なかったタイミングもあり、役員の方々と情報交換・懇親会を行うことができました。令和5年こそは多くの同窓生と再会できることを願っております。そして、来年は本校ビジネス科(前商業科)最後の年となります。学校活動・地域活動など、ご支援の程よろしく申し上げます。